市和	牛尽	イン	又拉	報言書	1 (称称	括衣)	(<u>T</u>)	3 31	<u> 日まで</u>	に掟	出し	(< ,	にさい。)		
追加									指 定 番 号							
□ 訂正 令和	1 年	月	日	提出		立川	市長	あて								
給与の支払期間 令和					月カ	' 5	月分	でま(
給与支払者の																
個人番号又は法人番号												事業種目				
フリガナ											尹未佳口					
給与支払者の											受給者総人員					
氏名又は名称	では名称							文和目心人員				名				
所得税の源泉徴収 をしている事務所												立	特別徴収対	- 魚字		
又は事業所の名称												Ш	157711±X4XX:	13/13		名
フリガナ												市	普通徴収対	象者		
	₹	Ŧ										へ の	(退職者	á)		名
同上の所在地										報	普通徴収対	象者				
I-J_LOJ/HEAB										告	(退職者を限	余く)		名		
												人	報告人員の	\ △ ≣+		
給与支払者が 法人である場合												員	+収口八貝♡	/ ШП		名
の代表者の氏名												所都	試税務署名			
連絡者の氏名、				課		係						771+1	1000011		:	锐務署
所属課、係名及び	氏名											給与	の支払方法			
電話番号	電話											及て	ドその期日			
関与税理士																
等の氏名及	氏名											納入	書の送付	妼	要・7	要
び電話番号	電話															
前職分・他社分の給与等を合算して				左欄にて「はい」を選択した場合には、個人別明細書摘要欄に「前職分・他社分の												
年末調整をしていますか。				支払者名、給与支払金額、社会保険料、源泉徴収税額」を必ず記載してください。												
はい・いいえ				※記載がない場合は前職分・他社分が含まれていないと判断します。												

※普通徴収とする場合は、下記の普通徴収切替理由も記入してください。

WILE WEST STATES TO STATES THE ST									
符号	普通徵収切替理由	人数		〇普通徴収とする場合					
普A	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~			は、個人別明細書の摘					
	総従業員数が2人以下 (下記「普B」~「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)			要欄に該当する符号(普					
	力で占む / 促来貝数で左ひ引いた人数 /		人	A、普Bなど)を記入し					
				てください。					
普B	他の事業所で特別徴収(乙欄該当者)		人	〇この普通徴収切替理					
			^\	由欄の記載がない場					
普C	給与が少なく税額が引けない(【例】年間の給与支払額が110万円以下)		ı	合、原則どおり、特別					
			人	徴収対象者となりま					
普D	給与の支払が不定期(給与の支払が毎月でない)			す。					
			人	○符号「普F」欄の休					
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)			職者とは、休職により					
	,		人	4月1日現在で給与の					
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで) 及び休職者			支払を受けていない場					
			人	合に限ります。					
	合計(普A~普Fの合計人数)								
	ロ테(日本、マロトのロ테人奴)		人						

切り取ってお使いください

(記載要領)

- [この給与支払報告書(以下「報告書」という。)は、地方税法(以下「法」という。)第317条の6第1項又は第3項に 規定する給与について使用してください。
- 2 給与の支払をする方で、給与所得について所得税を源泉徴収する義務のある方は、次により立川市に報告書を提出してください。
 - (イ) 1月1日現在において給与の支払を受けている方 1月31日まで
 - (ロ)給与の支払を受けている方のうち給与の支払を受けなくなった方 退職した年の翌年の1月31日まで
- 3 「指定番号」欄には、立川市が定める指定番号を記載してください。※新規事業所は空欄のままご提出ください。
- 4 「給与の支払期間」欄には、「立川市への報告人員」の「合計」欄で計上された人員に給与を支払った期間を記載して ください。
- 「給与支払者の個人番号又は法人番号」欄には、給与支払者の個人番号(行政手続における特定の個人を識別する ための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。以下同じ。)又は法人番号(同条第15項に規定 する法人番号をいう。)を記載してください。なお、個人番号を記載する場合は、左側を1文字空けて記載してください。
- 5 「給与支払者の氏名又は名称」欄には、個人事業主の方は屋号だけでなく、氏名もご記入ください。
- 7 「給与支払者が法人である場合の代表者の氏名」欄には、経理責任者の職氏名を記載してください。給与支払者が国の機関である場合には、国の機関名を記載してください。
- 8 「連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号」欄には、この報告書について応答する方の氏名、所属課、係名及びその 電話番号を記載してください。
- 9 「関与税理士等の氏名及び電話番号」欄には、税理士等が報告書を作成する場合に、報告書に関する問合せ先となる税理士等の氏名及び電話番号を記載してください。
- 0 「受給者総人員」欄には、1月1日現在において給与の支払をする事務所、事業所等から給与等の支払を受けている方の総人員を記載してください。
- 11 「特別徴収対象者」欄には、立川市に「給与支払報告書(個人別明細書)」を提出する方で、特別徴収の対象となる方の人員を記載してください。
- 12 「普通徴収対象者(退職者)」欄には、立川市に「給与支払報告書(個人別明細書)」を提出する方で、普通徴収の対象となる方のうち退職者の人員を記載してください。
- 13 「普通徴収対象者(退職者を除く)」欄には、立川市に「給与支払報告書(個人別明細書)」を提出する方で、普通徴収の対象となる方のうち退職者を除いた人員を記載してください。
- 14 「報告人員の合計」欄には、「特別徴収対象者」欄、「普通徴収対象者(退職者)」欄及び「普通徴収対象者(退職者 を除く)」欄の人員の合計を記載してください。
- 15 「給与の支払方法及びその期日」欄には、月給、週給等及び毎月20日、毎週月曜日等と記載してください。